

話題の映画や舞台で活躍
塩竈出身・旬の若手俳優

遊佐亮介さん

本市出身の遊佐亮介さんは、台湾で大ヒットした恋愛映画で、日本でリメイクしたことで話題になった「あの頃、君を追いかけた」の主要キャストとして出演している、旬の若手俳優です。

遊佐さんは、映画などの「映像」の仕事のほか、その場でも出されたお題を元に、仲間とひとつの芝居を作り出す即興芝居「インプロ」でも活躍しています。塩竈に対する思いなどについて、遊佐さんにお話を伺いました。

俳優を目指したきっかけを教えてください。

元々はお笑い芸人をやっていて、塩竈に住んでいた高校生時代から同級生とコンビを組んでいました。吉本興業主催の高校生全国大会で優勝したこともありましたが、大学生時代にコンビを解散し、途方に暮れていました。演技が好きということもあり、そのとき行われていた映画「あの頃、君を追いかけた」のオーディションを受けてみました。どうせ受からないだろうと思っていましたが、まさかの合格で、このことをきっかけに俳優として働いていくことと決めました。

俳優業で苦労したことやうれしかったことはありますか。

私はまだまだ無名の若手ですので、たくさんの方のオーディションに参加してもほ

遊佐亮介さん

塩竈市出身
よしもとクリエイティブ・
エージェンシー所属

＜主な出演作品＞

映画
「あの頃、君を追いかけた」
ほか舞台多数



とんど不合格になってしまっただけで悔しいです。その反面、海外の演劇祭に参加させていただいた際、英語で演技をし、最後に拍手をいただいたときの達成感は今でも鮮明に覚えています。

これからの目標と塩竈の皆さんに向けてのメッセージをお願いします。

東日本大震災直後に上京したので、塩竈に対して何もできなかったという引け目を感じています。今回の取材の依頼をいただき、微力ながら故郷に役立てることがあるのだと知り、うれしく感じました。

塩竈の魅力をより多くの方に伝えられるよう、有名になることが自分なりの恩返しだと思いますので、これからも俳優業をまい進していきます。

シリーズ 塩竈の魅力再発見⑨

特別な時間を体験できるまち

「塩竈は、さまざまな時代の建物が残っていることが魅力です」と話してくれたのは、NPOみなとしほがまでボランティアガイドをしている鈴木博美さんです。鈴木さんは、塩竈の門前町で着物を着て、まちあるきを楽しむ「着物deまちあるき」などのガイドを行っています。

鈴木さんは「塩竈は、江戸時代から明治、大正、昭和初期までの建物が残っています。それが、着物でのまちあるきを盛り上げます」と話します。「私たちにとって見慣れた景色ですが、長い歴史や古い建物があることで、着物を着て歩くだけで絵になります。市外から訪れた人たちは、そのような特別な時間を体験することができます。ガイドをするときは、そこに華やかさを演出できるように心掛けているんですよ」と続けました。

鈴木さんは「鹽竈神社や亀井邸、旧あびや旅館を中心に、ガイドできる場所を広げ、市内にお住



まいの皆さんにも新しい発見をしてもらいたいです」と笑顔で意気込みました。

皆さんも、新年を着物で出かけ、塩竈の魅力を再発見してみませんか。

皆さんが発見した塩竈の魅力をメールにて教えてください。



観光振興ビジョン
推進メンバー
鈴木博美さん

問 観光交流課人・まち交流係 ☎364-1165
Eメール kankou@city.shiogama.miyagi.jp

